

# 上手に使いこなして む新鮮なティーパーティ

サロンの先生が指南する  
テーブルコーディネート

Part2 鬼頭郁子先生

花とテーブルの両ジャンルで、  
女性らしく華やかな世界を作り上げる鬼頭郁子先生。  
そのセンスと柔軟な発想で、  
誰も持っているアイテムを新たな視点で  
コーディネートしてもらいました。

## CLASSICAL SET

Haviland



1 クリストフルのシルバートレイやガルニエ・ティエボーのティーナフキンに、自分のイニシャルをオン。定番の小物をカスタマイズし、愛着をもって使うのも楽しみのひとつ。2 トレイやプレートに花を添えるときは、フォルムをリンクさせて一体感を演出。3 柄のプレートには、同系色のガラスのプレートをコーディネート。自然になじみながらも、無難にまとめた印象を与えない使えるアイテムです。4 アビランドの新作「ブラジル」は、先生のお気に入り。花はそのくすんだピンクを核に、洗めの青と白をさし色にして。ガラスやシルバーのアイテムは、パリなどで購入することが多いのだとか。ティーカップ&ソーサー各¥36,000 デザートプレート各¥17,000(すべてアビランド/イザベラ コンスタンチン) アンティークのシルバーポット ¥380,000 同フォーク&ナイフ(各6本セット) ¥220,000 ガラスプレート(2枚セット) ¥3,000 テーブルクロス ¥66,000(すべてイザベラ コンスタンチン) その他(私物)

「コーディネートがワンパターンに陥りがちなクラシカルなティーセット。でも「柄のモチーフにとらわれず、色優先で発想を膨らませればアイデアは無敵大！」と鬼頭先生。今回は、ティーセットのくすんだピンクをキーカラーに、モーヴ系の大人の可愛らしさが漂うテーブルに。「全体がグラデーションになるように計算して、花をテーブルの敷力所に分けて生けると広がりが出ます。また、ティーセット以外はシルバーやガラスなど、ニュートラルな素材を選ぶのが、抜け感を演出するポイントです」

花とシルバーの存在感で  
柄のティーセットを刷新





「ザ ハウス オブ ファイン アーツ」主宰

鬼頭郁子さん

きとう・いくこ ●旬を取り入れた花とテーブルコーディネート教室を主宰するほか、ブランドのコーディネートやプロモーションにも携わる。6月にフランス食器&雑貨のセレクトショップ「イザベラ コンスタンチン」を銀座5丁目にオープン。



2



3



4

# いつものアイテムを 最愛テーブルウェアで楽し

## CRYSTAL ITEMS

Baccarat



1

アイスティーでおもてなしをする際、ぜひ実践したいのがクリスタルが主役のティーパーティー。バカラのアイテムを使いこなし、おしゃれなコーディネートに仕上げるコツは？「クリスタルのゴージャス感と好相性なのが、モダンな磁器とビロードのような質感の花。そこで、深紅のバラと黒いティーカップやリネンを合わせ、シックで艶っぽい世界を作りました。バラの花をシンプルに使うこと、リネンは真っ黒でない色を選ぶこと。この2点に気をつければ、初心者でもトライしやすいでしょう」

黒×赤で引き立てる  
クリスタルの華やかさ

1 大きなキャンディボックスを中央に。全体に高低差をつけることで、テーブルにリズムが生まれます。背の高いテーブルウェアがない場合は、背の高い花を活用して。キャンディボックス ¥360,000 ネックレス ¥50,000 ベストリースタンド ¥80,000 フラワーベース〈高〉各 ¥20,000 〈低〉 ¥28,000 バタフライ形オブジェ各 ¥33,000 ピッチャー ¥160,000 ワイングラス各 ¥30,000 シャンパンフルート各 ¥30,000 タンブラー各 ¥28,000 プレート各 ¥23,000 チョコレートを載せた小プレート ¥9,000 (すべてバカラ/バカラショップ 丸の内) その他(私物) 2 ベストリースタンドにはマカロンと姫リンゴ、バラの花を。スイーツも色みを揃えると洗練度がアップ。 3 サイドテーブルには予備のグラスをスタンバイ。照明も設置ドラマティックなムードに。ボウル ¥50,000 レッドタンブラー ¥26,000 ランプ ¥300,000 (すべてバカラ/バカラショップ 丸の内) 4 テーブルアクセサリは、カンヴァセーションピースとしても優秀。